

卷一百一十一

2015年(平成27年)11月14日 土曜日

国際作文コンテスト 服部さんが優秀賞



優秀賞に選ばれた自身の作文を手にする服部さん

松本市の松本秀峰中等教育学校2年の服部桂さん(14)が、「国際ユース作文コンテスト」の「子どもの部」で次席に当たる優秀賞を受賞した。テーマは「心中に平和を築く」で、服部さんは弟との口げんかなど身近な事例を踏まえ、小学校6年から通っている茶道教室で講師から教わった「禅語」(禅

の教えを表した言葉」を紹介した。「驚いたけれど、茶道の先生や家族に喜んでもらえてよかったです」と話している。

松本秀峰の14歳

歳までの「若者の部」に80点
43点が寄せられた。

同校は、文章力を付けるもの
との狙いで開校から毎年、中
学生に当たる1～3学年がコン
テストに応募。服部さんは
さまざまな考え方を理解し、
感謝の気持ちを忘れないこと
の大切さなどをつづった。同
校からほかに、3年の川原

航君15歳が佳作、同校は学校特別賞を受賞した。優秀賞は応募6年目で初。学校特別賞は2回目となる。

担当教諭の野口喬さん(38)は「自分の体験を素直に文章にできる生徒が多い」と評価した。表彰式は12月に都内で開かれる。

安曇野市明科七貴の荻原区の
住民でつくる「荻原の昔と今を
再発見する会」は15日、初めて
の「荻原検定」を荻原農村都市
交流センターで行う。区民に地
域のことをよく知つてもらう狙
いで、2013年に作った記念
誌「荻原の昔と今を再発見」を
基にした四者択一式の50問を出
題。正解が7割以上で合格とす

知って楽しむ「荻原検定」

住民の会 あす安曇野で

地財行しんださんじやレシヤレして食題を同委員記念多くから